

# 食品の自主回収及び苦情相談等について(令和7年(2025年)6月分)

## (1)食品の自主回収について

熊本市保健所管内の「食品等の自主回収」の情報はありませんでした。

全国の詳細については厚生労働省のホームページ内の「[自主回収報告制度\(リコール\)に関する情報](#)」をご覧ください。

## (2)食品等に関する苦情相談

熊本市保健所では、消費者等からの「食品等に関する苦情相談」を受けています。

令和7年(2025年)6月分の事例の中から紹介します。

	相談内容	対応等
1	食品に金タワシが混入していた	<p>【相談内容】</p> <p>飲食店で注文した杏仁豆腐に約1センチの金タワシのような金属片が入っていた。</p> <p>【状況確認】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・金属タワシは別メニューの調理機の洗浄に使用されており、劣化した金属タワシの破片が混入した可能性がある。</li><li>・なお、会社として金属タワシの使用は禁止されていたが、徹底できていなかった。</li></ul> <p>【考えられる混入経路】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1)調理機にタワシの破片が付着したまま食洗機で洗浄。食洗機庫内に破片が残存。</li><li>2)杏仁豆腐の調理用ボウルを洗浄した際に残存した破片が付着</li><li>3)ボウルに破片が付着していることに気づかず、杏仁豆腐を調理し、混入に至る。</li></ol> <p>【保健所からの指導】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ボウルなどの調理器具は、使用前に異物の付着を確認すること。</li><li>・古くなったスポンジ等は定期的に新しいものに交換すること。</li></ul>

## 【参考】使用器具の混入対策について

食品への金タワシ片の混入については、保健所にも年に数件相談が寄せられています。

切れやすくなった金タワシや毛羽立ったスポンジ、プラスチックや金属性のザルなど、使用する器具類は使用時に点検を行い、早めの交換を行いましょう。

異物になるものは、**①入れない、②持ち込まない、③取り除く**の3つの視点で混入防止対策を考えましょう。

### ①入れない

- ・使用する器具類を定期的に点検し、早めの交換、修理を行うことで、異物混入を防ぐことができます。
- ・また、そ族昆虫の侵入を防ぐことも重要です。

### ②持ち込まない

- ・業務に必要なもの以外は調理場に持ち込まないようにすることで、異物混入のリスクを小さくすることができます。調理場内に持ち込める物や持ち込めない物に関するルールを定めることも1つのやり方です。

### ③取り除く

- ・目視確認の徹底や金属検出器の活用などによって、異物が混入した商品を除外します。